

夜間中学校でダンス授業

守口市

守口市立きつき学園には、夜間学級がある。戦争、貧困、差別などいろいろな事情で、学校を卒業できなかった人たちのための義務教育機関である。戦後混乱期に学業より仕事を優先しなければならなかった人や敗戦時に中国

(旧満州)に残留した引揚帰国者の1世〜4世たちやその家族が学ぶ。韓国、中国、ベトナム、ブラジル、インド、フィリピン、タイ、パキスタン、ネパールと、国籍も多



村田さんは77歳の中学生

彩。在籍生徒数120名、平均年齢49・3歳。17時40分から20時50分、12名の教職員が指導にあたっている。北河内唯一とあって、守口市はもとより、近隣市や大阪市内に住んでいる人たちが通っている。

6月6日、初授業のダンスワークショップがあった。文化庁「次代を担う子ども文化芸術体験事業」で、生徒たちは戸惑いつつ「恋ダンス」に挑戦。音楽と動きに慣れていくうち、体育館は開放感に満ちた。

生徒代表でダンス指導者にお礼のあいさつをした村田十詩美さん(77)は、「10歳くらい若返りました」と満足げだった。



ダンスワークショップ